

# 2024年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	学校教育課程	履修者数	1,965
------	--------	------	-------

回答者数	1,281
------	-------

学年 マーク	回答者数／構成比 (%)				
	1年	2年	3年	4年	無効回答
	361 28.2	572 44.7	262 20.5	86 6.7	0 0.0

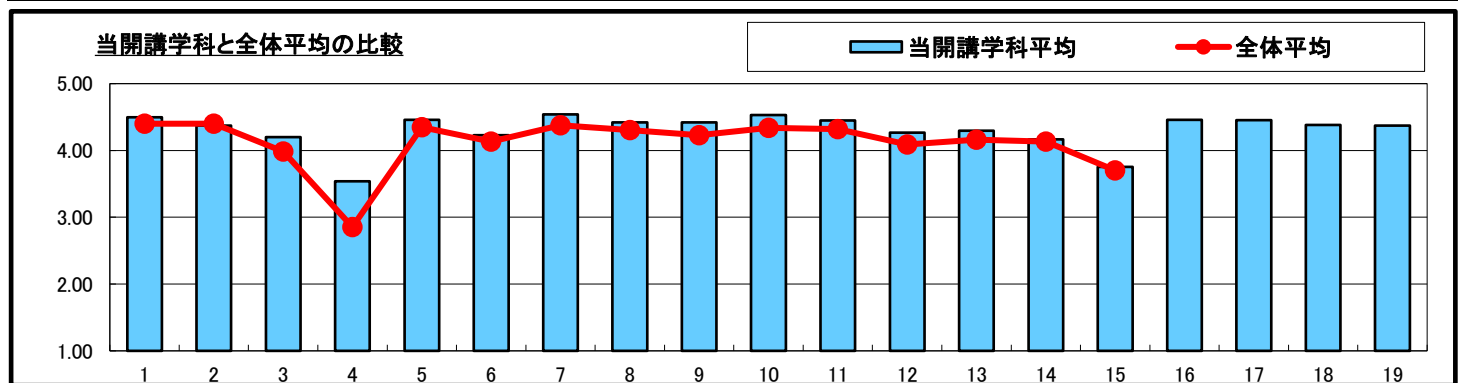
No.	設問文	平均	回答者数／構成比 (%)					有効 回答	無効 回答
			5	4	3	2	1		
			とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない		

▼全学部共通の質問項目									
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静粛性）は良好であった	4.49	749 58.6	449 35.1	53 4.1	21 1.6	7 0.5	1,279	2
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.37	697 54.5	441 34.5	74 5.8	57 4.5	11 0.9	1,280	1
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.20	532 41.7	524 41.0	172 13.5	39 3.1	10 0.8	1,277	4

▼学部レベルの質問項目									
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	3.54	2時間以上 302 23.6	1時間以上 2時間未満 372 29.1	30分以上 1時間未満 374 29.2	30分未満 177 13.8	全くして いない 54 4.2	1,279	2
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.46	704 55.1	476 37.3	81 6.3	12 0.9	4 0.3	1,277	4
6	この科目の難易度は適切であった	4.23	580 45.3	512 40.0	108 8.4	59 4.6	21 1.6	1,280	1
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.54	776 60.8	435 34.1	50 3.9	10 0.8	5 0.4	1,276	5
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.42	687 53.6	477 37.2	89 6.9	24 1.9	4 0.3	1,281	0
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.42	761 59.6	362 28.3	98 7.7	42 3.3	14 1.1	1,277	4

▼教員個人レベルの質問項目									
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.53	821 64.1	358 28.0	67 5.2	27 2.1	7 0.5	1,280	1
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.45	728 57.0	435 34.1	81 6.3	25 2.0	8 0.6	1,277	4
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.27	647 50.6	420 32.8	131 10.2	66 5.2	15 1.2	1,279	2
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.30	620 48.4	483 37.7	121 9.5	48 3.8	8 0.6	1,280	1
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.17	566 44.3	451 35.3	187 14.6	59 4.6	16 1.3	1,279	2
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.75	十分に 読んだ 340 26.6	よく読んだ 497 38.9	どちらとも いえない 265 20.8	ほとんど 読まなかった 133 10.4	全く読んで いない 42 3.3	1,277	4

▼学科設問									
16	この授業の学修を通して、関連の資格・免許状にかかわる資質・能力を高めることができた	4.46	701 54.9	479 37.5	76 6.0	17 1.3	3 0.2	1,276	5
17	この授業の学修を通して、教育に必要な実践や取組への理解を深めることができた	4.45	689 53.9	500 39.1	74 5.8	13 1.0	3 0.2	1,279	2
18	この授業の学修を通して、教育に関わる理論や研究への関心を高めることができた	4.38	645 50.4	508 39.7	96 7.5	27 2.1	3 0.2	1,279	2
19	この授業の学修を通して、教育に関わる技術やノウハウを身に付けることができた	4.37	652 50.9	503 39.3	87 6.8	28 2.2	10 0.8	1,280	1



## 2024 年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	学校教育課程
講評者	課程長 濱川栄

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	設問 2 「クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった」が大学平均 4.40 に対し課程平均 4.37 とやや下回ったが、全体に深刻な不満を学生に感じさせるような状況にはないと思われる。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	全項目で大学全体の平均を上回った。特に設問 4 「この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）」に対する大学全体の平均が 2.85 であるのに対し、本課程は 3.54 と有意に高いポイントを上げた。今後はできるだけ 4 に近い数値を出せるように尽力したい。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	全項目で大学全体の平均を上回った。特に設問 10 「教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった」、設問 11 「板書、スライド、配布資料などは適切であった」、設問 12 「学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた」で高いポイントを得たことは、教員養成を主とする本課程にふさわしい授業がおおむねできていることの現れであろうと理解している。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	おおむね高いポイントを得ているが、設問 19 「この授業の学修を通して、教育に関わる技術やノウハウを身に付けることができた」のポイントが 4.37 とやや物足りない。学生は「すぐに役に立つような授業技術やクラス運営の技術を身に付けたい」と望んでいるようである。そうした声に応えつつも、現場に出てからでは意識から薄れがちな「教育・研究に向かう心構え、理念」を重視する授業を続けていきたい。